

特定非営利活動法人 ポラリス



2026年(令和8)度 事業計画
2026(令和8)年4月1日～2027(令和9)年3月31日

2026年度のポラリスのテーマ

「みんなで大切に生きていこう」

本年度は、これまでの歩みを大切にしながら、無理のない形で活動を整え、次につなげていく一年にしたいと考えています。

地域の中で暮らす中で、さまざまな変化や課題がある時代ではありますが、そうした中でも、一人ひとりが安心して日々を過ごし、自分らしく生きていくことを大切にしていきたいと思います。

ポラリスでは、日々の活動を通して、「できることを増やすこと」「人とつながること」「地域の中で役割を持つこと」を大切にしながら、障害のある人もない人も共に生きる地域づくりに取り組んでいます。

また、行政や関係機関、地域の皆さんと連携しながら、それぞれの力を持ち寄り、無理なく続けていける形を大切にしていきます。

今年度も、一人ひとりの歩みに寄り添いながら、日々の積み重ねを大切に取り組んでまいります。

2026年4月
特定非営利活動法人ポラリス
代表理事 田口ひろみ



©加藤千恵

「ひろばポラリス」

山元町地域活動支援センター指定事業

～ 安心して過ごす・つながる場 ～

〈目的〉

ひろばポラリスは、安心して過ごせる居場所を大切にしながら、一人ひとりが自分らしく過ごし、学び、社会とつながっていくことを支援する。

〈活動内容〉

① 自分らしさを育てる活動

描画、刺繍、粘土、書道、茶道、読書、運動などを通して、楽しみながら自己表現を広げ、気持ちの安定につなげていく。

② 生活や仕事につながる活動

清掃、調理、洗濯、園芸、接客、PC作業、裁縫などを通して、日々の生活力や働く力の基礎を身につけていく。

③ 人とつながる活動

ピアサポーターとの関わりや利用者同士の交流、地域の人との関わりを大切にしながら、安心して人と関われる経験を積み重ねていく。

④ 地域とつながる取り組み

季節の行事やワークショップ、地域イベントへの参加を通して、地域との関係づくりや社会参加の機会を広げていく。

【行事予定】

- * 春: お花見、花壇づくり
- * 夏: 移動研修、大学生との交流、地域学習
- * 秋: スポーツ交流、文化祭参加、避難訓練
- * 冬: アート&カフェ、新年会、読書会、調理実習

※このほかにも、日々の活動の中で交流や学びの機会を大切にして活動する。



「ポラリス」 就労継続支援B型事業所

～ 就労と地域生活の力をつける場 ～

〈目的〉

「はたらく・たのしむ・まなぶ」を通して、一人ひとりが地域で自分らしく暮らしていく力を育む。

〈活動内容〉

- ・作業活動を通じたさらなる工賃向上
- ・利用者の状態に合わせた作業や活動の工夫
- ・販売機会の拡充と地域とのつながりづくり
- ・農園芸や軽運動による健康づくり
- ・体調や年齢に応じた無理のない活動の調整



〈利用者支援の方向性〉

- 就労を目指す方
→ 就職やアルバイトなど地域での仕事につながる経験を積む
- 継続して通う方
→ 安定した通所と生活リズムを大切にする
- 体調や年齢に配慮が必要な方
→ アート活動なども取り入れ、安心して過ごせる場をつくる

〈大切にすること〉

- ・できることを少しずつ増やしていくこと
- ・安心して通い続けられること
- ・働くことを通じて自信につなげること



ユニバーサルな学びの場づくり

～ひろげる場～

〈目的〉

障害のある人もない人も共に学び合い、出会いと対話を通して、
支え合って暮らせる地域づくりをひろげていく。

〈活動内容〉

山元町と連携し、誰もが参加できる学びの機会をつくる。

① スポーツを楽しむプログラム(7月・10月・11月／山元町体育館)

- ・山元町スポーツ推進委員が中心となり、インクルーシブスポーツやレクリエーションを実施
- ・障害のある人もない人も一緒に体を動かし、楽しみながら交流を深める。

② 歴史民俗資料館で学ぶプログラム(8月／山元町歴史民俗資料館)

- ・学芸員による解説を通して山元町の古代の歴史を学ぶ
- ・土器や線刻壁画など、古代の文化芸術を体験するワークショップを実施する。

③ アート&カフェ@山元町民文化祭(11月)

- ・アート作品の展示およびカフェコーナーを設ける。
- ・障害のある人もない人も一緒に楽しめるアートワークショップを実施する。

〈大切にすること〉

- ・障害のある人も「参加する側・担う側」となること
- ・自然な出会いと対話の中での「相互理解」が深まること
- ・地域の中で無理なく続いていく「つながりづくり」をすすめること。
- ・町や地域が主体となる活動へとつながり、「誰もが参加しやすい環境」を広げていくこと



地域とつながるアート&カフェ事業

〈目的〉

東日本大震災で被災し15年が経つ過疎が進む山元町で、地域で暮らす障害者が日々の楽しみとしてアート活動に取り組み、地域住民とアート&カフェで交流する場を作ることによって孤立を防ぎ、地域の中でこころ豊かに暮らせる環境を育む事業

〈活動内容〉

アートワークショップや文化体験を通じて創作活動を行い、その成果を地域に開かれた「アート&カフェ」として発信する。

実施月	活動内容	会場
6月	・アートワークショップ ・地域とのアート&カフェ	ひろばポラリス 仙台夢メッセ
7月	・アートワークショップ ・美術館でのアート作品見学	ひろばポラリス 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館
8月	・土器づくりワークショップ	山元町歴史民俗資料館
9月	・民生委員とのアート&カフェ	山元町防災・地域交流センター
10月	・美術館見学&ワークショップ	宮城県美術館
11月	・	山元町防災・地域交流センター
12月	・障害者週間のアート&カフェ	山元町役場
1月	・アートワークショップ	ひろばポラリス
2月	・振り返りと報告書作成	



助成：あすなろ福祉財団

地域で暮らし続けるための支援

利用者本人やご家族の高齢化、親なき後を見据えた相談、一人暮らしへの移行など、地域生活に関わる支援の必要性が高まっています。

そのため、就労支援だけでなく、地域の中で安心して暮らし続けるための見守りや生活支援についても、相談支援事業所、ヘルパー、訪問看護、医療機関、行政等と連携しながら取り組んでいます。

数年前からグループホーム設立についても検討を進めてきましたが、近年は生活スキルや社会経験を積み重ね、一人暮らしに挑戦する利用者も増えています。

そのため、ショートステイ等を活用しながら、一人暮らしや自立した生活のイメージを高め、ご本人が望む暮らし方を地域の中で支えていく取り組みを進めています。

また、ご家族の高齢化も進む中で、本人だけでなく、家族全体の見守りや支援が必要となるケースも増えています。これまで築いてきた本人・ご家族との信頼関係を大切にしながら、必要に応じた柔軟な支援のあり方について検討していきます。

さらに、既存の福祉サービスだけでは対応が難しい場面についても、地域の中で誰かが支えなければならない状況があります。NPO法人として、そうした制度の隙間を埋めるような支援についても、様々な検討していきたいと思っております。



法人運営

1.会議等の業務

【第11回通常総会】

日時:2026年6月18日

- 2025年度事業報告(案)・活動計算書決算(案)の承認
- 2026年度事業計画・活動計算書予算の報告

【理事会】

日時:2026年6月16日

- 2025年度事業報告(案)・活動計算書決算(案)の承認
- 2026年度事業計画(案)・活動計算書予算(案)の検討 ほか
上記のほかに2回開催し、雇用及び給与体系に関する件について審議を行った。

【監査】

日時:2026年6月16日

- 2025年度事業報告(案)の監査、承認
- 2026年度活動計算書決算(案)の監査と承認

2.会員に対する業務

- 正会員・一般会員の入会、継続に伴う業務
- 2025年度事業報告・活動計算書決算
及び2026年度事業計画・活動計算書予算の送付
- 事業等の案内および報告資料の送付

3.経理などの業務

- 資金管理として、現預金などの日常の管理状況を明確にする。
- 税務に関する業務として、源泉徴収税等の税務関連の業務を
石田秀男税理士事務所に委託

4.労務管理などの業務

- 法人に関連する人事労務管理、労働保険や社会保険関係
の手続きに関する書類作成・届出、法改正などの業務について、
社会保険労務士法人プロゲートに委託

5.総務関連などの業務

- 業務運営に必要な届出業務
- NPO法人としての宮城県への2025年度事業報告・活動計算
書決算の提出(総会後完了)

6.広報などの業務

- ウェブサイト、フェイスブックを活用した広報活動
- ポラリス活動報告書、その他を作成し、広報活動を行う。



©加納寛子